

生石地区

第2期 地域福祉活動計画

令和7年度 ～ 令和11年度
(2025年度 ～ 2029年度)

お互いさまの心で結ぶ
生石のきずな



生石地区 社会福祉協議会

第2 期 地域福祉活動計画策定にあたって

基本理念

お互いさまの心で結ぶ生石のきずな

生石地区の社会福祉協議会では、毎年全員で協議して実施計画をたて協議会の評議員全員がそれぞれの事業を担当して実施してきました。

しかし、地域福祉計画は、平成21年に第1期計画を策定して、平成25年に終了以降、新規の計画を見送ってきました。

一方、年と共に少子高齢化や地域の人間関係の希薄化が進む中、誰もが、住み慣れた地域で、自分らしく幸せに、心豊かに、安心して、健康に暮らしていける地域をめざして、基本理念から見直し、第2期の地域福祉活動計画を策定しました。

お互いさまの心で、一人ひとりが他人を思いやり、お互いに支え合う地域を目指して、他団体とも協力しあい活動を進めていきたいと思えます。

引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

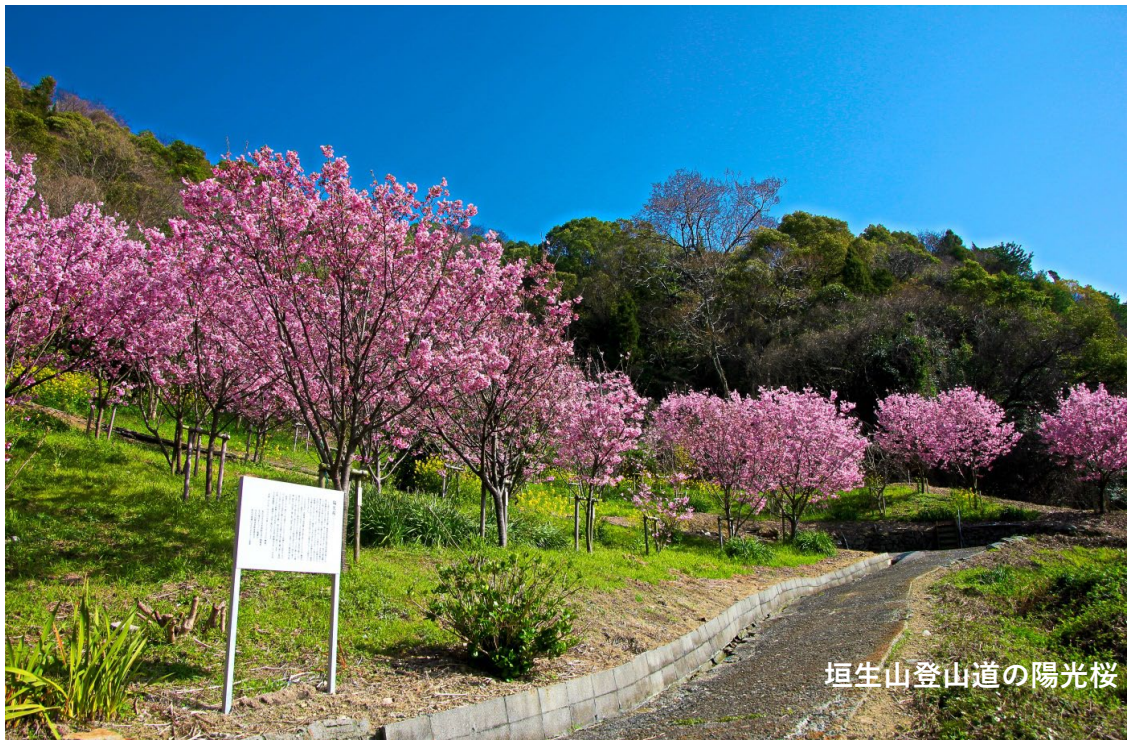
令和 7 年 7 月 1 日

生石地区社会福祉協議会

会長 田中 正昭

目 次

地域福祉に関する計画の連携と比較	1
「地域福祉活動計画」の策定手順	2
生石地区の概要(地域カルテ)	3
地域福祉活動計画	5
生石地区の活動状況	9
生石地区の史跡	12
策定委員会名簿	15
委員会開催状況	16

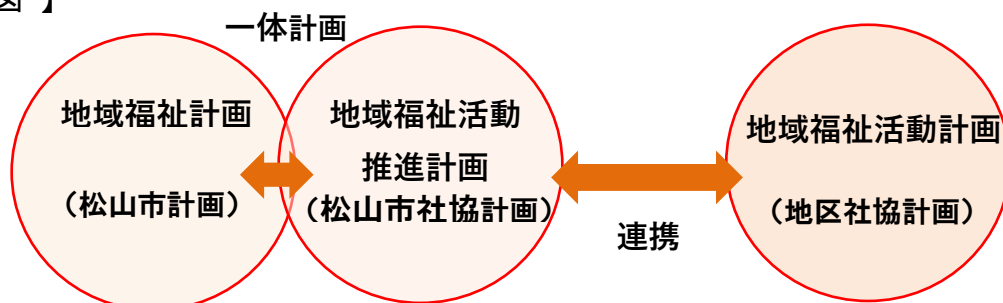


垣生山登山道の陽光桜

松山市における地域福祉に関する計画の連携と比較

地域福祉の推進を図るためには、下記の計画が内容を一部共有したり、策定過程を共有する等、相互に連携し、一体となって進めることが重要であり、お互いに補完、補強しあう関係にあります。

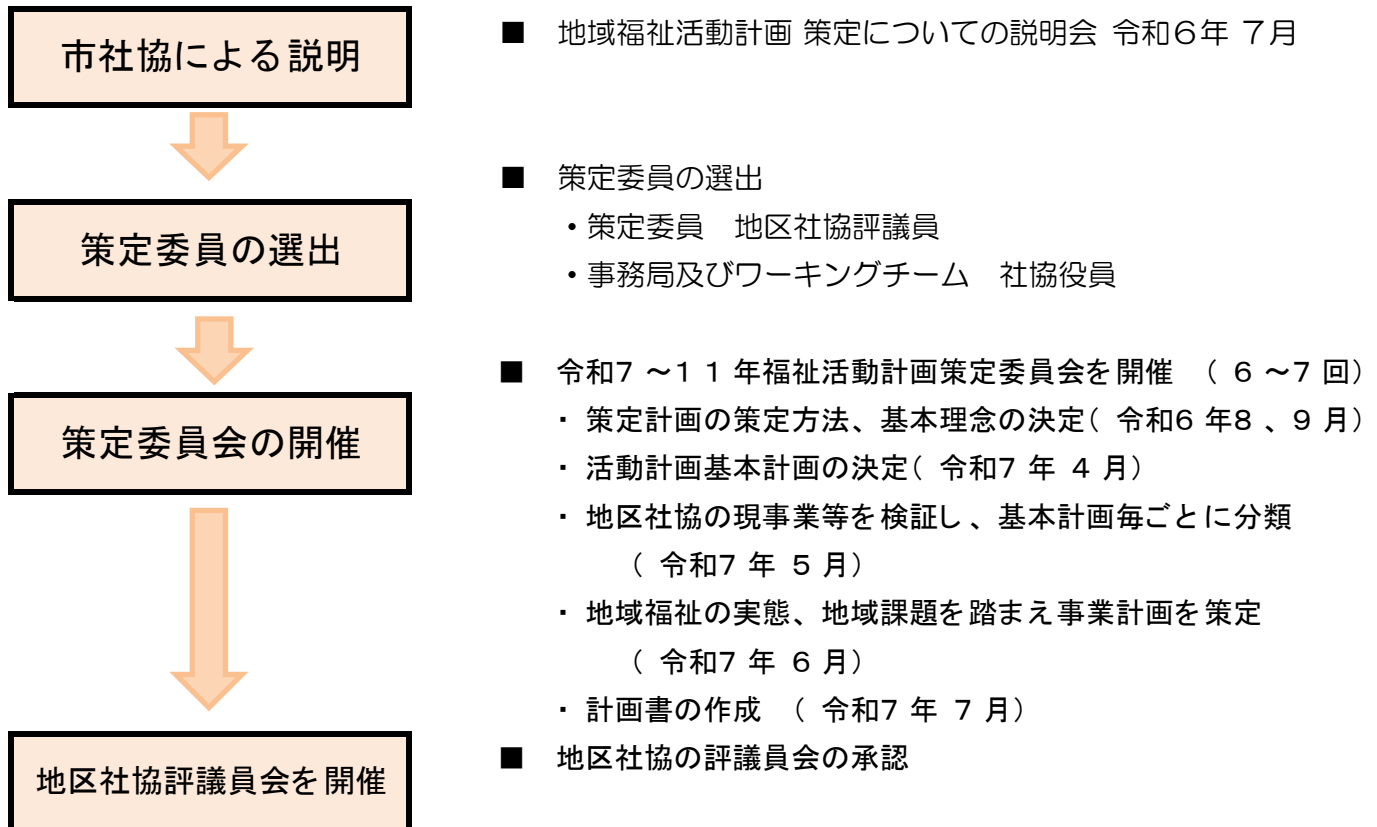
【 イメージ図 】



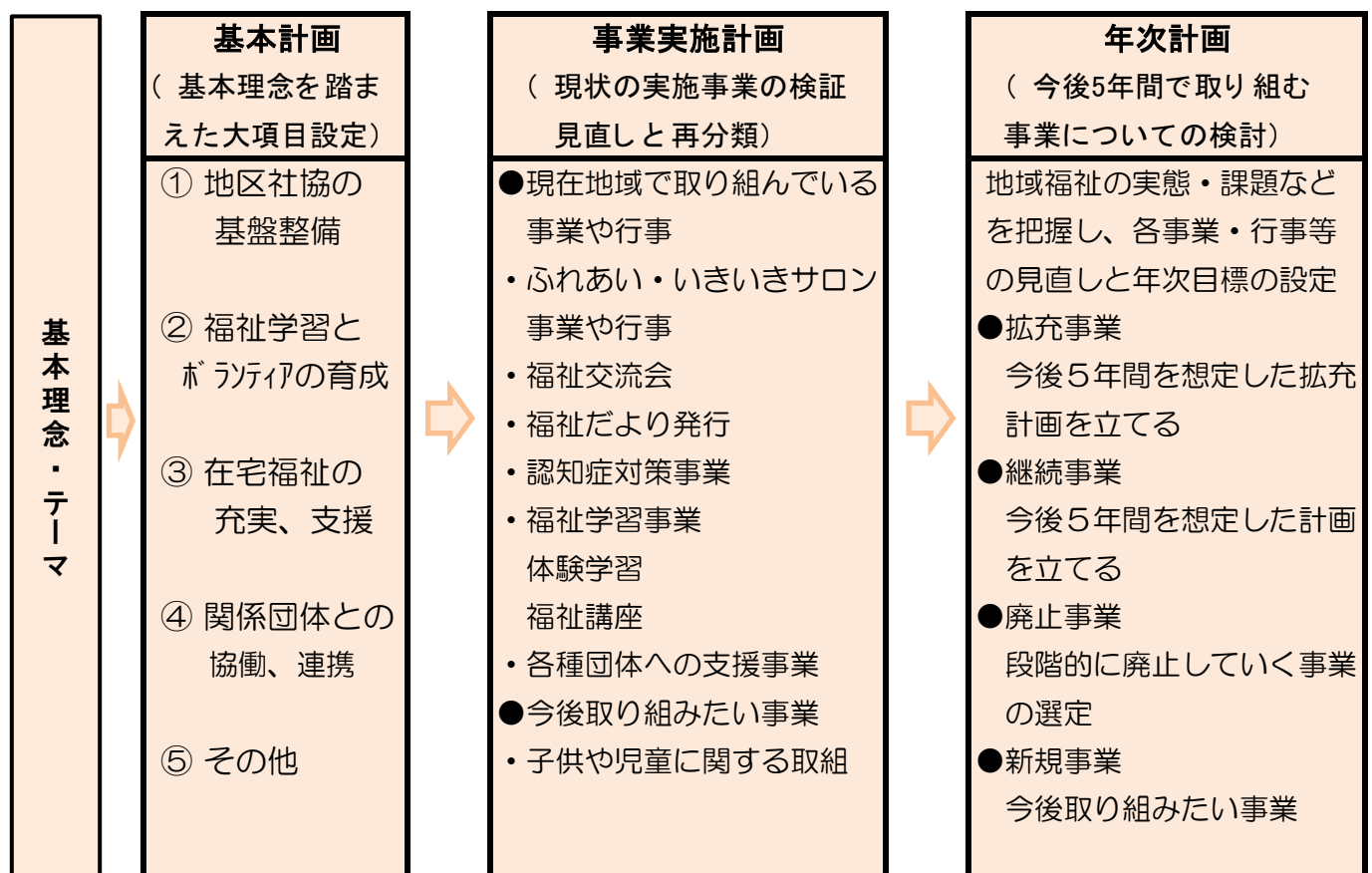
【 地域福祉に関する計画の比較 】

計画	地域福祉計画・地域福祉活動推進計画 (このまちのえがおプラン)	地域福祉活動計画
策定主体	松山市・松山市社協	生石地区社協
対象地域	松山市内	地区内
実施期間	5 年	5 年
基本目標 (基本理念)	『 みんなが参加し つながり支えあう 共生のまちづくり 』	『 お互いさまの心で結ぶ 生石のきずな 』
計画の特徴	目標1 支えあいの心を育む 目標2 みんなが主役になれる環境づくり 目標3 丸ごと支援のしくみづくり 目標4 福祉サービスの向上と適切な利用促進 以上の4 項目を個別目標に掲げ、住民一人ひとりや住民組織、ボランティア団体、NPO等の関係団体、学校、事業所等、地域の多様な主体、さらには松山市及び松山市社協がそれぞれの役割を担いながら、共につながり、支え合うことで、” 誰もが住み慣れた地域で暮らし続けたい ” と思える共生のまちづくりを目指します。	① 地区社協の基盤整備 ② 福祉学習とボランティア（団体）の育成 ③ 在宅福祉の充実、支援 ④ 関係団体との協働、連携 ⑤ その他 以上の5 項目を基本計画とし、「このまちのえがおプラン」の目標に照らしつつ、生石地区の特性を活かした事業を計画的に展開します。 地区社協が中核となって、住民の主体的な参加を基本とした地域福祉活動をより計画的・具体的にすすめるとともに、地区社協の基盤強化を図ります。

生石地区社協の「地域福祉活動計画」の策定手順



生石地区社協の「地域福祉活動計画」の体系図



しょうせき

生石地区

人口：18,899人（高齢化率 26.7%）
世帯数：8,788 世帯

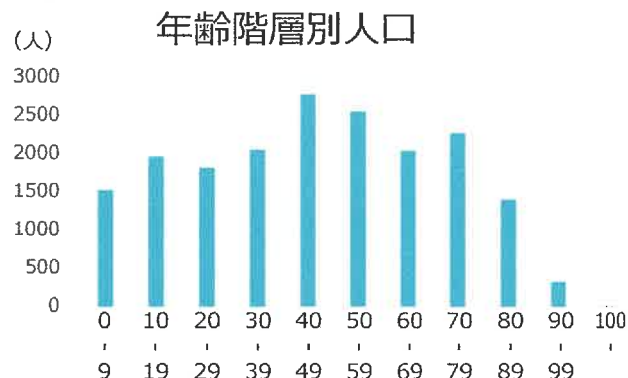


【地区の特色】

生石地区は、松山市の西部、瀬戸内海に面した位置にあり、自然と緑豊かな垣生山を中心に、伊予節で有名な吉田挿桃（さしも）を初め、生石八幡神社・金刀比羅神社等、数多くの史跡が残っている。かつては、大根・ラッキョウ・さつまいも等の野菜栽培が主な産業の田舎であった。戦後は、(株)帝人を始め次々と企業が進出し、旧軍滑走路は松山空港となり、周辺の整備事業も進み、国際化へ向って愛媛の空の玄関として大きく変わってきている。



愛媛の空の玄関、松山空港



【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	・まちづくり協議会と連携した活動・防災訓練に熱心 ・陸海空の交通が至便。空港があり県外へのアクセスが良好 ・買い物などスーパーが多く便利・避難所が多い・企業OBが協力的 ・公園で子どもたちがよく遊んでいる・住民によって垣生山の整備活動が行われている ・公民館活動が盛んでコミュニケーションが取れている・保育園と地域住民の交流がある ・子どもたちがよく挨拶する児童数市内No.1 ・子ども見守り隊の見守り員が多い ・自然に恵まれている・山側を歩くと空気がキレイ・健康意識が高い
地区の弱み	・コーポなど自治会にも入らない人達とのコミュニケーションが取りにくい ・若い人の地域行事参加が少ない ・土石流の心配がある ・信号の時間が短いところがある ・脇道が狭く車の量が多い ・交通量が多い ・バスの遅延（朝・夕）・時間によって交通混雑、渋滞がある ・地域によるゴミ出しの分別が守られていない ・公園の利用マナーが悪いところもある
福祉課題 地域が抱える	・個人情報保護法により、個人情報が出ないので把握できない事が多い ・独居世帯が増加（日常生活への支援が必要） ・高齢者が話し相手をほしがっている ・賃貸マンションの住民との交流 ・スーパーが多くなり、小売店が少なくなる（高齢者の買い物が不便） ・役員の担い手不足・行事を行うにも他人事 ・住民同士の関わりが希薄になる

生石地区社会福祉協議会

お互いさまの心で結ぶ生石のきずな

構成団体	地区民協・町内会長・区長・自治会長		
主な取り組み	活動内容		
地域住民の生活支援 (地域福祉サービス事業)	ゴミ出しや買い物支援等、高齢者の生活を地域住民の手で支えようと、協力会員、民生委員・児童委員、みまもり員が簡易な生活援助を行っています。		
生石小学校における 福祉学習	福祉学習の一環として、障がいのある人や高齢者の生活への理解促進を目的に車いすや点字、高齢者疑似体験の活動を支援しています。		
高齢者福祉講座	まちづくり協議会と連携し、主に高齢者を対象とした福祉講座を開催しています。高齢者が身近に感じる事をテーマに取り上げています。		

お一人住いの皆様と共に

独居高齢者を対象に、交流と慰労を目的とした催しを行っています。保育園児による劇や中学生によるコーラスなど、様々な関係機関と連携して絆と思いやりの種まきを行っています。

平成元年から続く活動で現在までに 30 回開催しております。



<地区社協が目指すもの>

地域社会の変化と多様化、例えば新旧住民の関係、地域への愛着度、少子高齢化、防災など課題山積のなか、これまでの行事・活動を漫然と続けていては活性化は望めません。まずは地区まちづくり協議会、その構成組織・団体との連携強化と交流に努めます。すでに高齢者健康福祉講座、認知症サポーター養成講座、防災訓練、災害時要援護者対策で実績を積み、意見交換を始めている分野もあるため、この流れを地道に継続し、拡大・普遍化する先に「助け合う社会」「安全安心の暮らし」「地域文化の継承」などの展望が開けてくると考えています。

地区の状況	■地区民協 民生委員 主任児童委員	25 名 2 名	■町内会・自治会・区長会等	9 団体
			■高齢クラブ	7 クラブ
			■子ども会	7 団体
	■まち協の設立	平成 26 年度	■自主防災組織	16 組織

生石地区 地域福祉活動計画

1. 基本理念

お互いさまの心で結ぶ生石のきずな

2. 基本計画

(1) 地区社協の基盤整備

実施計画	年度計画					5年計画
	7	8	9	10	11	
・ 総会の開催	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	毎年、理事（各町自治会長、副会長）評議員が全員出席して総会を開催する。
・ 役員会、評議員会開催	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	毎年1回役員会、評議員会を開催する。
・ 地区社協 福祉だよりの発行	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	編集委員会を開催し、内容の充実を図り発行する。（年1回）
・ 活動資金の確保 共同募金活動への参加	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	共同募金の使途・地域配分金の活用について、地域住民、企業、商店、団体へ周知し、共同募金への理解と協力者への拡充に努め、財源確保を図る。
・ 地区社協の拠点整備 と活用	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	拠点整備に関連した周辺環境整備を松山市生石支所、生石地区まちづくり協議会、生石公民館と連携しながら推進、充実を図る。
・ 地区社協の組織改革	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	定期的に見直し、改訂する。
・ 協力会員の充実	拡充	⇒	⇒	⇒	⇒	協力会員の高齢化により、人員が減少傾向にあり、地域福祉サービスに支障をきたす可能性があるため拡充を図る。

(2) 福祉学習とボランティア

実施計画	年度計画					5 年 計 画
	7	8	9	10	11	
・ 高齢者福祉学習	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	地域住民の参加が得られるテーマや学習内容を検討し、福祉情報の発信、啓発を行う。
・ 地区内小学校への福祉学習事業への助成	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	地区内小学校の福祉学習事業について(まちづくり協議会)共同で助成する。
・ 各種研修会への参加	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	市社協等他団体が開催する研修会にも積極的に参加協力を行うとともに研修結果を全体会議等で共有する。できるだけ平等に研修会参加機会が得られるよう調整する。
・ 児童、生徒の健全育成に関する事業	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	主任児童委員を中心に小・中学校との連携強化に努める。 継続して小・中学校の各種事業に参加・協力を行う。
・ 子育て支援事業	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	地区内保育園等が行う、乳幼児、児童生徒、親世代への支援事業について、広報等の支援を行う。
・ ふれあい食堂の実施	拡充	⇒	⇒	⇒	⇒	三世代交流を目的に、生石地区まちづくり協議会福祉部と共同で2ヶ月に1回実施する。 案内は地区内小学校、保育園の連絡メール等で実施する。

(3) 在宅福祉・生きがい介護予防サービス

実施計画	年度計画					5 年 計 画
	7	8	9	10	11	
・ ふれあい・いきいき サロン事業	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	現在行われているサロンへの支援 及び助成金支給を継続して行う。 (緩和型を含む)
・ 地域福祉サービス事業 (a) 地域福祉サービス	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	高齢者、身体障がい者を対象とした 在宅福祉サービス(ゴミ出し、掃 除等) 事業の啓発とこれを担う協 力会員拡充を図る。
・ 地域福祉サービス事業 (b) 協力会員の研修	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	地域福祉サービス事業における協 力会員の拡大を図るとともに、協 力会員の研修を実施することで対 応力の向上を図る。(年1回以上)
・ 独居高齢者の交流と 慰労の会	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	松山市民生児童委員協議会に登録 の独居高齢者全員に民生・児童委員 が訪問して招待の案内状を手渡し する。 午前、午後と昼食をはさんで保育 園園児の発表、中学校生徒の合唱 部、吹奏楽部、その他演技を提供 する。
・ 高齢者世帯への 声かけ活動	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	民生児童委員、独居高齢者みまも り員が協力して高齢者世帯への声 掛け活動を実施する。 敬老の日には長寿祝いの品を持っ て90歳以上の在宅高齢者を訪問 する。
・ 独居高齢者の年末慰労 訪問 ・ 80歳以上の高齢者へ 年賀状出状	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	公民館と共同で民生児童委員が年 末にかけて訪問し、慰労の品を贈 る。 80歳以上の方に年賀状を送る。

(4) 他団体との協働

実施計画	年度計画					5 年 計 画
	7	8	9	10	11	
・ 町内会との協働	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	福祉だよりの配布、共同募金事業への協力依頼他。
・ 自主防災会との連携	検討 拡充	拡充	継続	⇒	⇒	災害時の要支援者支援体制の検討、拡充。
・ まちづくり協議会との 連携	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	まちづくり協議会の構成委員は地区社協関係者が一部を担っており、まちづくり協議会との協力を行う、助成金継続。
・ 包括支援センターとの 連携	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	支援の必要な高齢者について随時情報交換を行い、協力体制を構築する。地区内で協働して必要な研修を行う。
・ 高齢クラブへの助成	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	地区内で健康講座等開催協力依頼助成金継続。
・ 公民館との連携	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	積極的に公民館主催の事業に参加協力する。

生石地区の社会福祉活動

一人住まいの皆さんとともに

一人住まいのみなさんの慰労と交流をかねて、地域のみなさんと共に



福祉学習 小学校での体験学習 他



小学4年生より
独居高齢者への
プレゼントカード ➡



ふれあい食堂

世代間の交流、みんなで食べるとおいしいよ



餅つきもしたよ。おいしかったよ



食後の遊び



調理



民生児童委員、みまもり員
ケアマネジャー
包括支援センター合同研修
認知症対応能力向上を目指して



サロンの活動



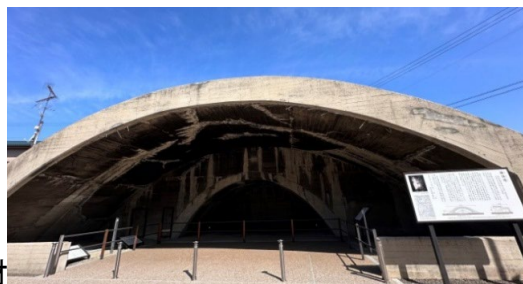
えんたいごう

掩体壕（南吉田）見学者受け入れ

掩体壕は太平洋戦争当時の昭和19年（1944年）に松山海軍航空基地の戦闘機を敵の空襲から守るために造られたコンクリート製の壕で、軍用機が1機入る半円形をしており、当時は上空からの敵に分からないように外側を土で盛っていました。松山海軍航空隊の昭和史を今に伝える貴重な史跡で、平成30年（2018年）に松山市の有形文化財に指定されました。

今では小学校の平和学習で活用され、戦争の記憶を伝えています。

松山市教育委員会は小学生を対象とした教育プログラムの一環として活用することになり、生石地区まちづくり協議会が市から委託を受け、施設の管理、見学者の、受け入れを担当し、ボランティアでガイドをしています。昨年は市内46小学校から3400人が見学に訪れました。



高齢者健康講座

健康寿命を延ばそう



福祉講座

防災備品の準備と
マタイムラインについて



協力会員総会

地域福祉サービスの結果報告と火災予防講座



仮設トイレの利用法



生石地区の史跡

○ 松山海軍航空隊跡（北吉田町）

昭和 18 年（1943年）10月に帝国海軍として第57番目の基地として「松山航空基地」が開設され、その北側に松山海軍航空隊が新設されました。偵察と操縦の教育をする予定でしたが、戦局は不利となり、資材と燃料の不足から爆撃を受けた飛行場の修復整備に当たることが多かったようです。

その記念碑が、帝人正門前の道路入口（右写真）と金刀比羅神社前のバス停にあります。



○ 金刀比羅神社（北吉田町）

天正3年（1575年）に惣那山城主が創祀し、松前城主加藤嘉明が松山藩主になって以来、西方鎮守として、松山藩主から手厚い援助を受けました。

祭神は大国主命と崇徳天皇で、大漁祈願、海上安全、家内安全にご利益があると言われています。境内には等身大の古い木彫りの馬があります。



○ 吉田挿桃の里の石碑（南吉田町）

石碑は桃山幼稚園内の小高い砂山の丘にあります。この地がなぜ吉田挿桃といわれるようになったのか、その由来について書かれています。関谷良氏の書で昭和 12 年（1937年）に創建されました。



○ 極楽寺（南吉田町）

寛文11年（1671年）に水翁伯元大和尚によって開山されました。松山城北（山越）龍泰寺より分かれた曹宗のお寺で、創建当初は阿弥陀仏がご本尊でしたが、宝暦 4 年（1754年）に釈迦如来に代わりました。



○ 垣生山城址（北吉田町）

南北朝時代（室町時代）に足利尊氏についた河野道盛と垣生氏は、その功績により河野氏は伊予国の総領職として勢力を広げ、1334年頃道後の地に湯築城を築きました。湯築城の西に面した生石地区は、瀬戸内海の海岸地帯に標高110mの垣生山と忽那山があり河野氏の一族垣生氏が守る城が垣生山に築かれ、豊臣秀吉の天下統一まで続きました。



○ 天狗の面（高岡町）

その昔、石鎚山の天狗が親切にされた高岡村の長者に感謝し、その家の守護神になったという伝説に由来しています。疫病が大流行したときに、天狗の面を作り、門に飾ったところ、高岡村からは病人が一人も出なかったと言われています。天狗の面は、顔は箕（竹で編んだ農具）眉はシュロ、目は草履、鼻はうなぎを取るやな箕というように農具などでできています。



○ 生石八幡神社（高岡町）

貞観元年（859年）奈良県大安寺の行教和尚が大分県の宇佐八幡から戻る途中、垣生山が光り輝いているのを見て、「何か謂れがあるに違いない。この地を神の社にすればご利益があるだろう」といわれたことから、村人たちが八幡宮を勧請（神仏の分霊をお願いし、迎え祀ること）し、建てられた歴史ある神社です。



○ 大蔵寺（高岡町）

平安時代の延喜元年（901年）に高岡村郷土（この寺の任務についていた役人）の弓立大蔵によって建立された寺であるといわれています。真言宗豊山派で、本尊は虚空蔵菩薩で開運福德、息災延命の仏です。平成29年（2017年）、本堂の落慶法要が執り行われました。



くつぬぎてんまんぐう

○ 履脱天満宮（久保田町）

長保元年（999年）に一条天皇が社殿を建立し、菅原道真を祀って履脱天満宮と称したとされています。「履脱」の由来は、道真が今治を出て陸路で大宰府に向かう途中、歩き疲れて履を脱ぎ、その場所でくつろいだ事が名前の由来とされています。道真はここが気に入り、その後3年間もとどまったといわれています。



○ 安楽寺（久保田町）

履脱天満宮と同一の境内にあり、道真がこの庵で履を脱いだといわれています。奈良時代の高僧で、日本最初の大僧正の位を授けられた行基が天平14年（742年）に開山したお寺です。本尊は十一面観音で、真言宗智山派です。



○ 観音院（富久町）

天正5年（1351年）に創建された古い寺で本尊は十一面観音です。ここには観音講といって信者が参詣したり相互の助け合いをしたりする互助組織があり、祭りやご祈祷など、村人たちがお祈りをしてきました。江戸時代末期にかけて子供たちが勉強する寺子屋としても使用されていました。



○ 石鎚権現神社（富久町）

さくら小学校の北側を流れる洗地川のすぐ北に樹齢1000年といわれる大きな楠があり、そこに石鎚権現神社があります。暦応元年（1338年）頃にはここに加多寺というお寺があり、石鉄蔵王大権現が祀られていたそうですが、その後、明治2年（1869年）の神仏分離令で石鎚権現神社となりました。



生石地区 地域福祉活動計画 策定委員会名簿

役 職	氏 名	備 考
委員長	田中 正昭	地区社協会長
副委員長	向井 かおり	地区社協副会長
副委員長	高本 壽夫	地区社協副会長
事務局長	竹内 典子	地区社協事務局長
委 員	藤渕 聡子	地区社協啓発調査部長
委 員	松岡 ちさ子	地区社協援護部長
委 員	三好 公德	地区社協評議員
委 員	山口 律子	地区社協評議員
委 員	前田 光男	地区社協評議員
委 員	渡辺 昭治	地区社協評議員
委 員	高橋 幸博	地区社協評議員
委 員	岡田 葉子	地区社協評議員
委 員	門田 眞由美	地区社協評議員
委 員	西山 つや子	地区社協評議員
委 員	三好 公子	地区社協評議員
委 員	川口 理子	地区社協評議員
委 員	徳山 祥子	地区社協評議員
委 員	片山 眞理	地区社協評議員
委 員	門田 慎二	地区社協評議員
委 員	福山 トミ子	地区社協評議員
委 員	向井 真美	地区社協評議員
委 員	片山 里美	地区社協評議員
委 員	近江 優子	地区社協評議員
委 員	西本 かおり	地区社協評議員
委 員	垣生 京子	地区社協評議員
委 員	崎山 修	地区社協評議員
委 員	浅田 義行	地区社協評議員

生石地区地域福祉活動計画策定委員会の開催状況

1. 策定委員会開催状況

策定委員会 役員、評議員により話し合い、各事業の評価と課題を洗いだし、5 か年計画を策定

名 称		開催時期	参加者	内 容	場 所
策定委員会	第1 回	R6. 7. 9 19: 00～20: 00	評議員全員 27名	市社協担当者より 地域福祉活動 計画策定要領講義を受ける	松山市 生石支所
	第2 回	R6. 9. 10 19: 00～20: 00	評議員全員 27名	基本テーマ検討	松山市 生石支所
	第3 回	R6. 10. 8 19: 00～20: 00	評議員全員 27名	評議員会で提案テーマを決定 「お互いさまの心で結ぶ 生石のきずな」	松山市 生石支所
	第4 回	R7. 4. 11 14: 00～15: 00	役員 8 名	生石地区社協の「地域福祉活動 計画」の体系確認	松山市 生石支所
	第5 回	R7. 5. 9 14: 00～15: 00	役員 8 名	基本計画打ち合わせ	松山市 生石支所
	第6 回	R7. 6. 6 14: 00～15: 00	役員 8 名	活動状況編集	松山市 生石支所
	第7 回	R7. 7. 7 14: 00～15: 00	役員 8 名	全体校正	松山市 生石支所



第 2 期 生石地区地域福祉活動計画

発行： 生石地区社会福祉協議会

《問い合わせ先》

松山市社会福祉協議会 地域福祉部

〒790-0808 松山市若草町8番地2 松山市総合福祉センター内

Tel : 089-941-3828 / Fax: 089-941-4408

Web アドレス <http://www.matsuyama-wel.jp>

発行日： 令和7年7月